

< 高付加価値型農業に取り組む事例 >

## 自然との調和を保った持続可能な地域づくり

### 1. 集落協定の概要

市町村・協定名	愛媛県伊予市 上吾川横内			
協定面積 4.8ha	田 (86%)	畑 (14%)	草地	採草放牧地
	水稻	柑橘		
交付金額 93万円	個人配分			49 %
	共同取組活動 (51%)	水路・農道等の維持管理費		27 %
		多面的機能増進・研修費		8 %
		役員報酬		15 %
	その他		1 %	
協定参加者	農業者 15人			開始：平成18年度

### 2. 取組に至る経緯

上吾川横内集落は、伊予市役所から東約 1 km に位置し、集落内には里山やため池・河川があり、多くの自然が残されている。当地区は、平成 17 年の市町合併に伴う過疎法の暫定適用により中山間地域等直接支払制度の対象地域となったことから、平成 18 年度から本制度に取り組み、多面的機能を重視しつつ、環境に配慮した活動を行ってきた。

### 3. 取組の内容

高付加価値型農業の実践(有機農業の実施)のため、有機農法、自然農法技術の習得・向上に努めている。

多面的機能の持続的発揮に向け、非農家や他集落等と連携を図り、草刈り、田植え、水田の生き物調査、稲刈り、収穫祭、しめ縄作り等を実施して交流を推進し、集落の活性化及び地域自然環境保全を図っている。

研修・学習会を通じて、世代間交流、後継者育成に努め、農家数を維持している。



【コープ自然派親子田植え体験】



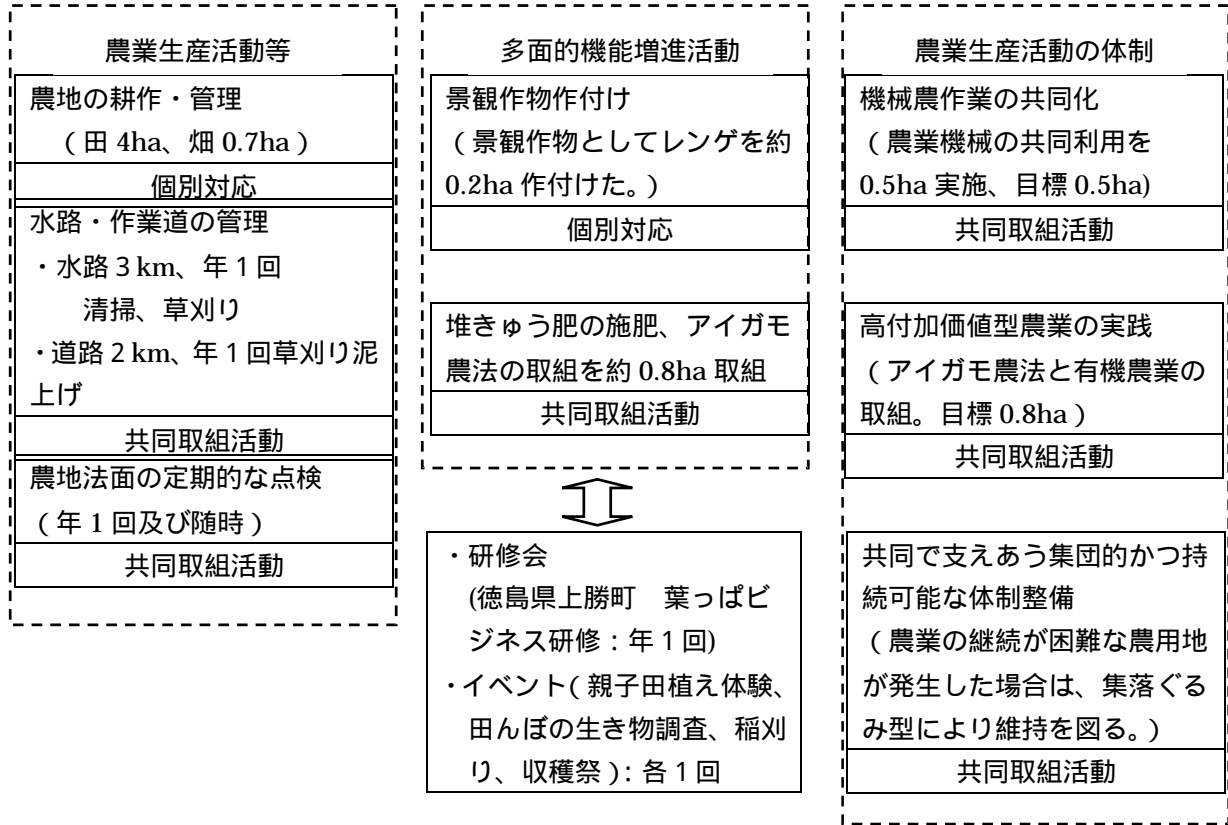
【コープ自然派親子稲刈り体験】

[ 集落の将来像 ]

当集落は、里山を含み、ため池や河川があり、多くの自然が残っており、動植物も多様である。水田農業の多面的機能を重視しつつ、環境に配慮した農業経営に取り組んでいきたい。  
また、Iターン、Uターン者等が意欲的に農業に取り組む環境づくり等、持続可能な集落農業を目指す。

[ 将来像を実現するための活動目標 ]

各種研修会、学習会、交流会、イベント等の開催を通じて、世代間交流、後継者育成に努め、農家数を維持するとともに、地域内外の農家、非農家と協力して地域自然環境保全に努める。



「集落外との連携」

コープ自然派えひめと連携を図り、地域の活性化を図る。

4 . 今後の課題等

持続可能な環境保全型農業の推進を図り、地域活性化を図ること。

地域住民の高齢化による後継者問題の解決と耕作放棄地の発生を抑止すること。

[ 第 2 期対策の主な成果 ]

- ・自然生態系の保全に関してコープ自然派えひめとの連携による水田の生き物調査を実施した。
- ・アイガモ農法と有機農業の取組みを実施した。
- ・農道舗装等による農業生産条件の強化を図ることができた。